



さかきっ子

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい

『さかきっ子』の育成」

第1回学校運営協議会 20日

今年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会の松本桂子様、釘崎収悟様、釘崎真貴子様、立石葉子様、田原真紀様をお招きして、今年度一新した学校教育目標などのグランドデザインについて御承認いただきました。その後、全学級の授業、引き渡し訓練の様子を見ていただきました。

協議では、「二小校区の小中学生がきちんと挨拶ができるので気持ちがいいです。」という褒めの言葉もいただきました。また、授業の様子を見られて「子供たちが全学級落ち着いて安心しました。」「先生方もここにきて授業をされていますね。」との感想をいただきました。

引き渡し訓練 20日

大雨のシーズンに入る前に引き渡し訓練をする計画で進めていたところ、今年は早い梅雨入りとなったうえ、訓練当日は大雨洪水警報が発令される中での訓練となりました。

体育館で子供を保護者に引き渡すという訓練内容でしたが、保護者の待機場所、受付確認の仕方、動線など、改善すべき点が見つかり、有意義な訓練となりました。近年は、線状降水帯といわれる、局地的に積乱雲が異常に発生し、強雨をもたらすことで予測を超える大きな被害がでる事例も多いように感じています。学校では、大雨洪水警報等がでるような気象状況の場合、町教委と連携を密にして、人命を第一に考え、早めの判断をするように心がけています。しかし、急な豪雨など、予め予測することが困難な場合も考えられます。そのような気象状況の際は、急なお迎えをお願いすることもあります。したがって、そのような気象状況の際には、可能な限り早く「学校安全・安心メール」を送信しますので、こまめにメールチェックをお願いします。

水俣に学ぶ職員研修 14日

本校教職員が水俣病を正しく理解して、授業に臨むことはもとより、教職員の人権感覚を高めることを目的として、県の水俣病保健課の主管事業である教職員を対象とした水俣病啓発事業に参

募しました。当日は、水俣病を語り継ぐ会の吉永利夫様、吉永理巳子様の講話をオンラインで聞き、研修を深めることができました。

教職員は、水俣病の学習を通して、差別等の人権問題、海洋汚染等の環境問題について考えるよい機会となりました。

選挙出前授業 6年 18日

県選挙管理委員会が主催する「選挙出前授業」に応募したところ、こちらも運良く受講が決定し、県選挙管理委員会と町選挙管理委員会からお越しいただきました。また、当日は、有明新報の取材もありました。授業前半は、なぜ選挙が必要かということについて、税金の使い方を決めたり、法律をつくらしたりする国民の代表者を選ぶために選挙がある事を学習しました。後半は、本物の投票用紙、記載台、投票箱を使って模擬投票を行いました。18歳になったら全員選挙に行っていきたいと思います。



5年研究授業 21日

算数科の授業研究をしている本校では、算数・数学の指導法に詳しい南関中の永杉校長先生を講師にお招きして、第1回目の研究授業を研究主任の鴨川先生が行いました。内容は、偶数・奇数についてでした。単に知識として偶数・奇数を覚えるのではなく、整数を2で割った時の余りに着目し、余りが0か1か、によって整数は、偶数・奇数の2つに類別できることを理解し、整数の見方を広げました。次に、3つにわけられた整数のグループを見て、3で割った余りが0か1か2かで3つのグループに類別されていることに気づき、中学校で習う剰余類につながる学習をしていきました。参観された先生方からは、「積極的に発表したり、意見を言ったりしていて、すばらしかったです。」という感想が出されました。

また、タブレットの効果的な活用等について、学校教育専門指導員の寺田先生から指導助言をいただき、実りある授業研究会となりました。

